

# 問 支え合いセンター建築数と進捗状況は

# 答 堀之内1施設で完成は来年3月の予定



太田 修議員

【復旧・復興事業の進捗状況等について】

**問** 堀之内、三日市場の高齢者支え合いセンターの進捗状況は。

**村長** 国に協議書を提出しましたが、三日市場の内示はなく、堀之内地区の1施設のみでした。進捗状況は建方を行い、現在、外壁の地下作業中で、完成は来年の3月末を目指しています。

**問** 復興住宅の建設財源は。

**村長** 概算で補助対象事業は約5億4000万円、うち国庫補助金は補助対象事業費の1/2以内の規定により約

2億6800万円、県の上乗せ分が1/6、約5900万円が加算され、村の負担分は約2億1000万円を見込んでいます。村負担分は全額、公営住宅建設事業債を充当する予定ですが、起債への交付税措置はありません。補助対象外費用では、上下水道からの引き込み工事や上水道加入金等があり、約1000万円を見込んでいます。村の概算負担総額は2億2000万円の見込みとなります。

【平成28年度の重点事業と予算編成等について】

**問** 平成28年度の最優先事業と予算編成は。

**村長** 予算編成作業を開始したばかりで、最優先事業は震災復興事業で、具体的事業は村営住宅の建設や被災者の住宅建築資金に係る利子補給の支援、被災農業者の支援などを予定しています。震災体験を生かした防災計画の見直しや、平成

29年2月開催の冬季国民体育大会に取り組みます。

**問** 公共施設の維持管理費と財源確保策は。

**村長** 施設の老朽化が進み多額な維持費が掛かる状況ですが、費用は利用料を充てています。平成28年度に公共施設等総合管理計画を策定する予定です。施設の現状や将来を見直し、総合的かつ計画的な管理基本方針と、施設類型ごとの更新費用の見込み額の算出を行い、面積縮減等の方策など具体的に策定することで、管理コストの削減に努めます。

**問** 第5次総合計画の村民アンケート内容と関連する総合戦略・観光地経営計画との整合性は。

**村長** アンケート内容は、地域資源の活用の中には地域における人材活用や、恵まれた自然環境、水や空気のきれいな村を念頭に考え、クリーンエネ



栄村の復興住宅

**問** 新築や増改築等に伴う建築確認と景観等への指導は。

ルギーや自然エネルギーの活用、焼却ごみの削減、リサイクル化の促進等の施策の展開を盛り込んでいます。整合性の部分では総合計画や、総合戦略は計画審議会に公募委員も入り議論をいただくとともに、観光地経営計画の策定委員に観光局長をはじめ6名の方が入り、整合性に配慮して策定を進めています。

**教育課長** 村の建設課を経由し県及び民間検査機関が実施、申請者からの建築確認を法に基づき事前に審査を行い、建築士と白馬・小谷村から各1名で、違法防止に向けた「建築パトロール」を月1回実施し、表示の不備や大規模改築の構造等を確認しています。

**総務課長** 一定要件を超える場合に届け出が必要で、総務課で形態や色彩等を確認しています。